

リユース品質を支える検査技術

リユースできるか判断するのは、
人間ではなく、
回転変動率検査装置だ。

経験や勘では、微細な異常は発見しきれない。富士ゼロックスは、再使用する部品の品質を新品同等に保つため、独自の検査機器を導入しています。例えば、画像転写装置におけるモーター機構のチェックユニット。三段階の速度でモーターの回転変動率を測定し、リユースできるかどうかを精査しています。厳しい品質管理を前提としたリユース部品活用機種数は、1996年度～2007年度の累計で99機種にまで拡大。部品リユース率は、68%^{*}を達成しました。また、使用履歴に基づきリユースの可否を判断する新システムを導入するなど、リユース率を高める取り組みをさらに強化。ものづくりと環境対応の両立を徹底しつづけています。地球温暖化の解決策は、生産ラインにあった。私たちの工場を稼働させている最大のエネルギーは、電力ではなく、CO₂削減を目指す環境哲学です。 * 部品点数比

減らせ、CO₂
環境哲学
富士ゼロックス